広島県の地震

２０２６（令和８）年９月

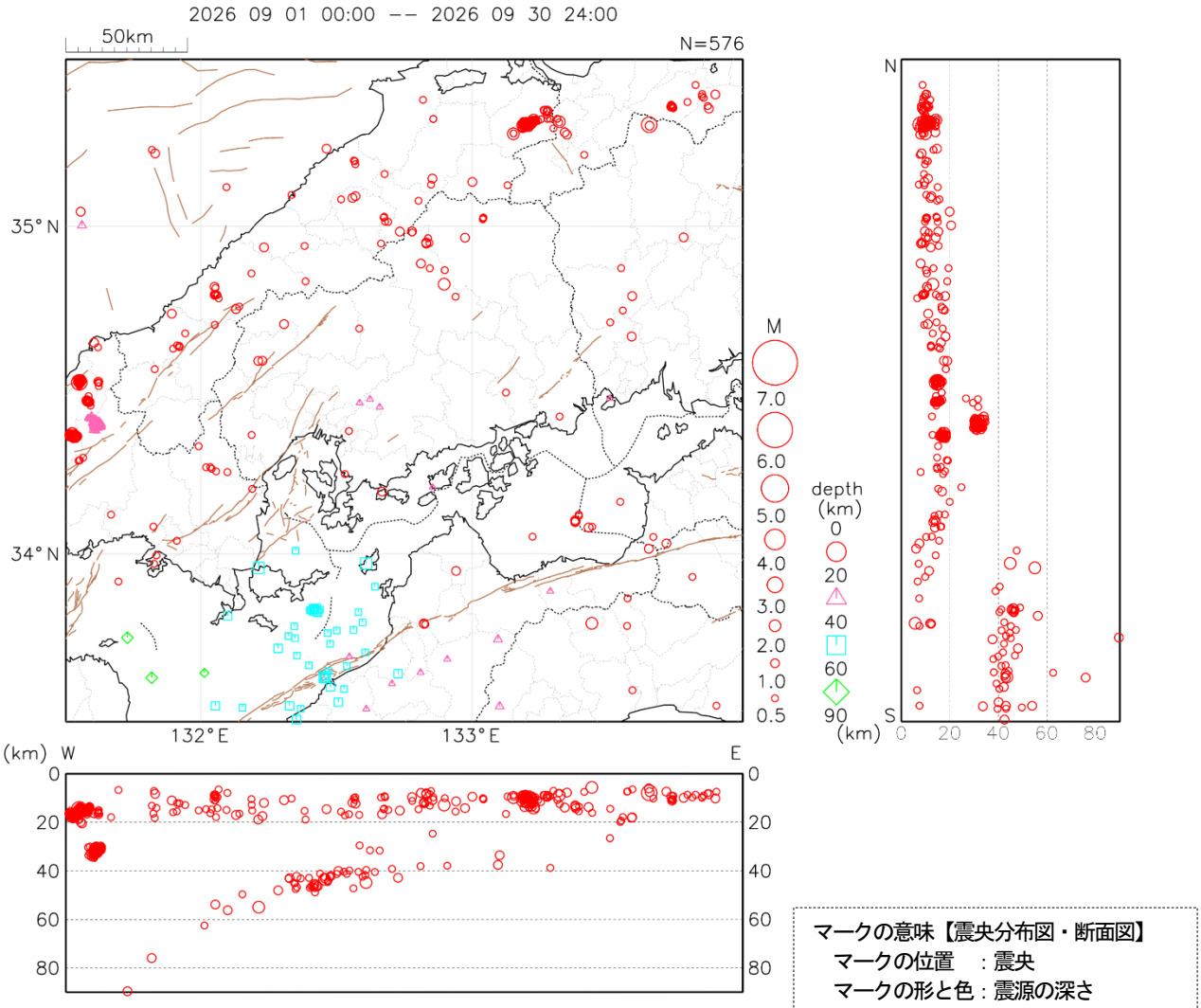
目　次

広島県及びその周辺の地震活動・・・・・・・・・・・・・・・・１
震央分布図・断面図と地震概況
広島県における震度１以上の地震・・・・・・・・・・・・・・・２
震度一覧表と震度分布図
地震メモ　第 261 回・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３
2016 年 10 月 21 日鳥取県中部の地震から 10 年
～地震による突然の強い揺れへの備え～

広島地方気象台

広島県及びその周辺の地震活動

【震央分布図・断面図】　　2026 年９月１日～９月 30 日



左上：震央分布図　右上：南北断面図　左下：東西断面図

※　震央分布図とは、震源直上の地表面での位置を表示した図です（震源とは地球内部で岩石破壊が始まった地点で、一般的には深さがあります）。

※　図中の茶線は地震調査研究推進本部 による活断層を表しています。

※　図の右上の”N”は図の範囲内における地震の回数です。

マークの意味【震央分布図・断面図】
　マークの位置　：震央
　マークの形と色：震源の深さ
　マークの大きさ：M の大きさ

※　Mは地震の規模を示すマグニチュードの略です。

凡例（depth）【震央分布図】
- ○ は深さ 0～20 km未満
- △ は深さ 20～40 km未満
- □ は深さ 40～60 km未満
- ◇ は深さ 60～90 km未満

【地震概況】

この期間、広島県内で震度１以上を観測した地震は１回でした（先月は４回）。

21 日 22 時 38 分 日向灘の地震（深さ 36km、M4.8、上図の範囲外）により、大分県、宮崎県で震度３を観測したほか、中国・四国・九州地方で震度２～１を観測しました。広島県では尾道市・福山市・呉市・大竹市・府中町・江田島市で震度１を観測しました。

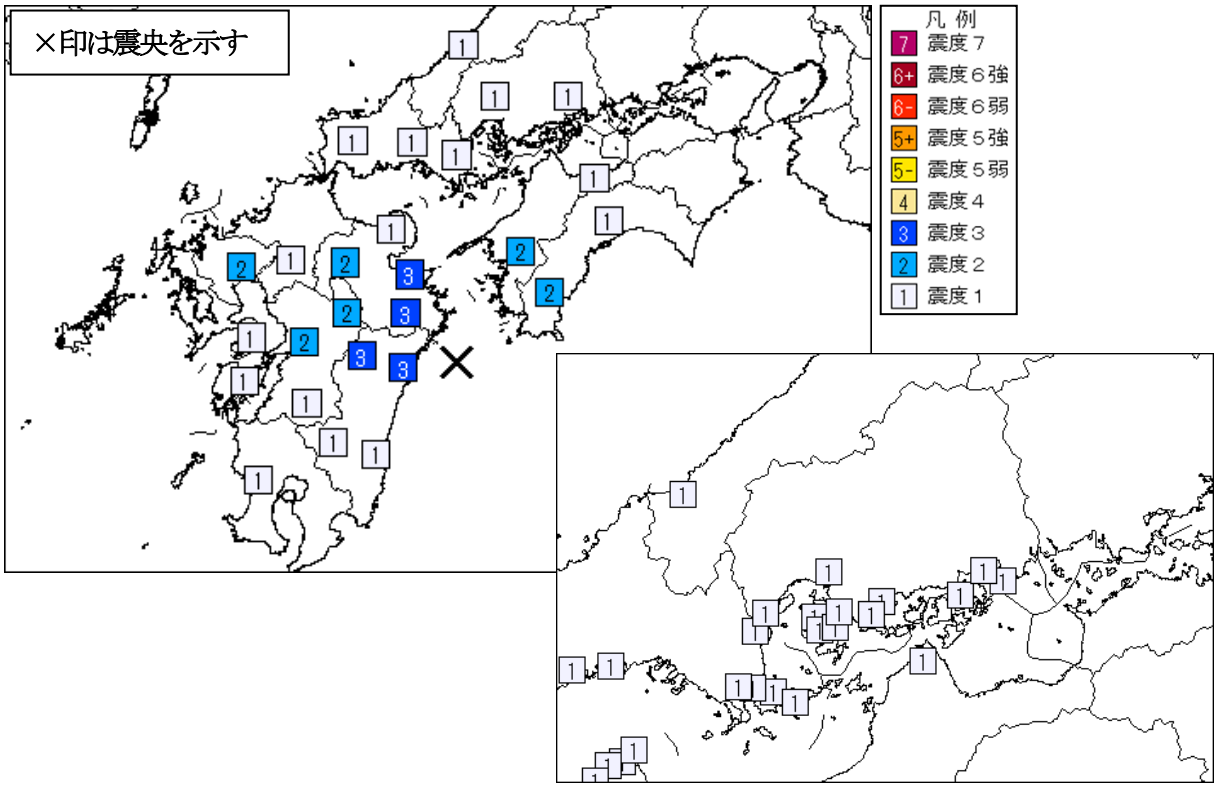
広島県における震度１以上の地震

【震度一覧表】

発震時刻（年月日時分）　震央地名	緯度	経度	深さ	M
広島県内の各地の震度				ﾏｸﾞﾆﾁｭｰﾄﾞ
2026年09月21日22時38分　日向灘	32° 34.4’ N	132° 05.6’ E	36km	M4.8
―――――― 地点震度 ――――――				
広島県　震度 1 ： 尾道市向島町＊, 尾道市瀬戸田町＊, 福山市内海町＊, 呉市宝町, 呉市川尻町＊ 呉市音戸町＊, 呉市安浦町＊, 大竹市小方＊, 府中町大通り＊, 江田島市大柿町＊ 江田島市能美町＊				

注）震度の地名に＊印を付したものは、広島県または防災科学技術研究所の震度観測点によるものです。

【震度分布図】



2026 年 9 月 21 日 22 時 38 分　日向灘の地震
（左上）地域震度分布図、（右下）広島県周辺の観測点震度分布図

地震メモ　2016年10月21日鳥取県中部の地震から10年 ～地震による突然の強い揺れへの備え～　第261回

2016年10月21日に鳥取県で最大震度６弱を観測した鳥取県中部の地震（以下、「この地震」という。）の発生から今年の10月21日で10年となります。今回はこの地震を振り返るとともに、地震による突然の強い揺れへの備えについて解説します。

○2016年10月21日の鳥取県中部の地震

2016年10月21日14時07分、鳥取県中部の深さ11kmでマグニチュード6.6の地震が発生し、鳥取県倉吉市・湯梨浜町・北栄町で震度６弱、鳥取県鳥取市・三朝町、岡山県真庭市・鏡野町で震度５強を観測したほか、関東地方から九州地方にかけて震度５弱～１を観測しました（図１）。この地震により、鳥取県を中心に岡山県、兵庫県、大阪府で、負傷者32人、住家全壊18棟、住家半壊312棟、住家一部破損15,095棟などの被害が生じました（総務省消防庁による）。

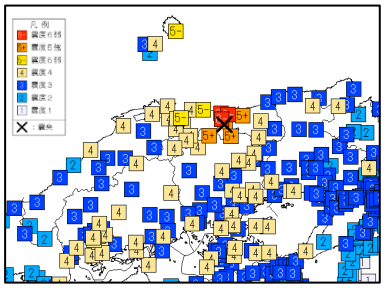


図１　中国地方周辺の市町村震度分布図



被害写真（気象庁現地調査資料より）
左：アスファルト面の陥没（湯梨浜町）右：屋根瓦のずれ（北栄町）

○地震による突然の強い揺れへの備え

この地震で観測した震度６弱の揺れに見舞われると、屋内では固定していない家具の大半が移動し倒れる、屋外では壁のタイルや窓ガラスの破損・落下、耐震性の低い木造建築物は瓦が落下したり建物が傾いたりすることがあります。

気象庁では地震による強い揺れから身を守っていただくため、一般の皆様に緊急地震速報（警報）を発表しています。この地震に対して、最初の地震波検知から12.1秒後に緊急地震速報（警報）を発表しました（図２）。図２の同心円の数字は緊急地震速報の提供から強い揺れが来るまでの猶予時間（秒）ですが、０秒の同心円より内側は緊急地震速報が間に合っていない地域です。緊急地震速報を見聞きしてから地震の強い揺れが来るまでの時間は数秒から数十秒しかなく、この地震のように内陸の浅い場所で地震が発生した場合などにおいては、震源に近い場所への緊急地震速報の提供が強い揺れの到達に間に合わない技術的限界があります。緊急地震速報を見聞きした時は、周囲の状況に応じて、あわてずにまず身の安全を確保してください。また緊急地震速報が間に合わない場合等に備え、日頃から強い揺れに対するとっさの安全確保行動を考えておきましょう。

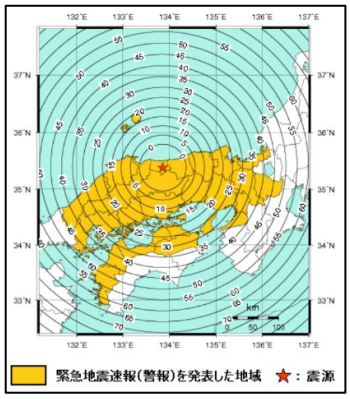


図２　緊急地震速報（警報）第１報を発表した地域及び主要動到達までの時間

11月５日（木）は緊急地震速報の訓練に参加しましょう！

11月５日の「津波防災の日」・「世界津波の日」の取組の一環として、毎年11月５日に緊急地震速報の訓練が全国的に行われます。揺れから身を守ることが、地震・津波防災の第一歩です。是非自治体等が行う訓練に参加しましょう。訓練の詳細は下記URLにてご確認ください。
https://www.jma.go.jp/jma/press/2610/09a/20261009_eewkunren.html

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、2025年トカラ列島近海における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（平島、小宝島）、EarthScope Consortiumの観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

なお、本資料の震源要素及び震度データは暫定値であり、後日再調査のうえ、修正されることがあります。

広島県の地震に関する問い合わせ先
〒730－0012
広島市中区上八丁堀 6－30 広島合同庁舎 4 号館 14 階
広島地方気象台 防災管理官室　　TEL：082－223－3953